

みやぎ母乳育児をすすめる会

ニュース No.54



2021. 6

目 次

巻 頭 言

みやぎ母乳育児をすすめる会 副理事長 大槻 健郎 …… 1

令和 3 年 定例会報告

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事長 青葉 達夫 …… 2

■ 母乳育児奮闘記

さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック 塚 武男 …… 3

■ NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会

2020年度 第 4・5・6・7・8・9 回理事・幹事会議事録 …… 5

■ 母乳フォーラム in 宮城 2021 のお知らせ …… 25

巻 頭 言

みやぎ母乳育児をすすめる会 副理事長 大槻 健郎

コロナ禍と言われ始めてから1年以上経過しますが、未だ先行き不透明な状況が継続しています。私が勤務している仙台市立病院では増加する新型コロナウイルス感染症患者に対応するため、当病院では専用病床数を増やし一般病棟を3棟閉鎖しました。連日のようにコロナ関連の会議が開かれ、様々な場面での対応について協議しています。産婦人科、小児科関連では主に新型コロナウイルス感染妊婦への対処方法や分娩方法、新生児の取り扱いなどを検討しています。この感染症は母乳育児にも大きな影響を与えています。

2020年4月から12月において、東京都での妊婦陽性者は159名（月平均17.7名）いました。全陽性者における妊婦の割合は0.27%です。年齢別では20歳代以下が68名、30歳代が76名、40歳代が15名でした。妊娠週数別では妊娠22週未満が78名、22週から36週が56名、37週以上が25名です。実際に分娩管理を要した例は29例あり、20例が帝王切開分娩、9例が経膈分娩となりました。世界各地の様々な報告から経膈分娩による母子感染の危険性はあまり高くはないと考えられていますが、分娩管理中の院内感染リスク軽減を目的に多くの施設では帝王切開分娩を選択しています。分娩への直接的な影響だけではなく、感染予防の観点から立会分娩の中止や入院中の面会禁止も行われていて、妊産婦の不安が強まっているという弊害もあります。また、妊婦健診の間隔も空けざるを得ないことや、帰省分娩の制限など様々な影響が出ています。

分娩後の母乳中に新型コロナウイルスは検出されなかったという報告があり、主な母子感染リスクは感染した産婦の気道や便と考えられています。そのためマスク着用などの呼吸器感染予防や手洗い、接触した部分の定期的な清拭、消毒を行えば直接授乳や母子同室も選択肢となります。しかし、ほとんどの病院では接触感染による院内感染予防のため、新型コロナウイルス陽性妊婦が分娩した場合には新生児への感染予防のため母子分離による母体・新生児管理が計画されています。今までにあまり経験のない感染予防と新型コロナウイルス陽性妊産婦の母乳育児支援が我々の新しい任務です。

これらの状況を改善させる一つの方法として新型コロナウイルスワクチンが認可され、日本でもワクチン接種が始まりました。1年弱という短期間で開発されたワクチンであるため長期間にわたる有効性や安全性に関するデータはありませんが、アナフィラキシーショックなど重篤な副作用はその他のワクチンと比較しても大きな頻度の差はなさそうです。大規模接種を始めたイスラエルやイギリスなどでは新規感染者、重症者、死亡者がすべて減少し通常の生活に戻りつつあるようです。妊婦に対するワクチン接種の報告はまだ多くありませんが、現時点では妊婦特有の重篤な副反応や胎児への影響は報告されていません。妊娠中のワクチン接種により獲得した抗体が胎盤や母乳を介して新生児に移行していることが確認されていますので新生児の感染予防になっている可能性があります。今後ワクチン接種が進んで感染が落ち着き、通常の生活に戻ることを祈念します。

令和3年 定例会報告

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事長 青葉 達夫

一昨年行った恒例の宮城県の母乳率調査で、驚愕の結果が出ました。それまでは順調にすすんでいたと思われる母乳率がガクンと悪くなりました。宮城県の県南、県北はもとより仙台市も母乳率が軒なみ下がったのです。母乳育児支援より以前に「育児環境」の悪化が懸念されます。くわえてこのコロナ禍で出生率が大幅に下がる見通しです。子育てが根底から揺らいでいます。そこで、当会も完全母乳にこだわらず、まず、母乳のある子そだてを何とかしようというように活動の舵を切りました。できれば完母や混合でもいいので、母乳育児を支援しようという立ち位置です。

さて昨年に端を発したコロナ禍で、コミュニケーション手段がZoomにとってかわり、また講演会もウェビナーになり、参加者を募る手段もPeatixを活用し始めました。われわれの例年までの活動の方向転換と同様、活動様式も変わらざるを得ないこととなってきました。現在 いろいろ模索の中、改善への努力をくりかえしている次第です。

5月28日に定例会をZoomウェビナーを使い行いました。初めての試みです。照明など機材を用意し、事前にネット環境などを確認し、万全を期して配信に臨みました。演題は当会監事の堺武男による「赤ちゃんのことをもっとよく知ろう」で、乳児についての旧知の知見から新たなものまで、乳幼児の育児支援に必要な事柄でした。

しかし、こちらの手違いで100名以上入れないなど、不備が連発し、大勢の皆様せっかく入ろうとしたのに入れなかった という ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。そこで、再度同じ演題で、新たに配信を6月19日に計画しました。今回は500名までの枠を取り、またそれ以上来場者があった場合に対してと、この時間に参加できなかった方のために、ユーチューブにも録画したものを配信する試みを行います。これは今年秋の総会と母乳フォーラムに向けての試金石でもあります。初めてだらけのことで、手探りの状態です。

秋には、支援者向けの育児書を発刊します。(昨今のお母さん方は子育てで育児書などにたよらず、こまるとハッシュタグ(＃)をつけて聞いてしまうようです)。まずは宮城の子育てを守る。という趣旨のもと、粛々と活動を行ってゆきたいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。

「母乳育児奮闘記」

さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック 塚 武男

第 20 回 コロナ禍での母乳育児の方法

今回は少し趣を変えて、コロナ禍での母乳育児の方法について考えてみます。

この内容は、これまでの各学会やその他の発表を少しまとめてみたものですが、私見も入っていることをお断りしておきます。

1. 母親がコロナ感染での出産

1) 胎内感染：一例ほどの報告があり、ゼロではないようですが、これまでの報告では経胎盤感染は殆ど認められていません。

また、感染妊婦さんからの出生でも児の先天異常の報告はなく、児が重症になることも極めて少ないようです。勿論コロナには関係ない早産などの新生児疾患による症状が出ることはあります。

2) 分娩様式：基本的には帝王切開が選択されます。これは胎児異常に伴う帝切ではなく、施設の問題、職員への感染予防を考慮するためです。

3) 出生後の母子早期接触は行われません。

2. 出生した新生児

1) 母子は、母親のPCRが陰性化し、感染からの回復が認められるまでは母子異室とされます。

2) 児は保育器収容、または他の児と2m以上の距離をあけての隔離扱いとされます。

3) 出生後24時間、または48時間の児のPCRが陰性であれば隔離は解除されます。

4) 児に接触する職員はPPEを保ち、CPAP、人工呼吸下では完全PPEを保つようにします。

注：PPE: personal protective equipment：手袋、マスク、フェースシールド、ガウンなどの「個人用防護具」のことでコロナ禍では日常的に用いられる語です。

3. 母乳育児の方向性

経母乳感染はないとされているので感染中の母親の母乳を児に与えることには問題なく、母乳育児が推奨されます。その方法としては

1) 直接授乳：飛沫感染に注意しながら行うこともできますが、現実的には不可能と思われます。

2) 搾乳による搾母乳による母乳育児：問題点は搾乳の支援、搾母乳の運搬などで母親と職員の接触回数と接触時間が増えて職員への感染の可能性が高くなることです。電動搾乳器を用い、搾母乳を母乳パックなどに入れ、母親の病室の冷蔵庫に凍結保存し、1-2日に1回収してそれ

を児に与えることなどは可能だと思われます。

3) 母親の感染中は人工乳を用い（搾乳は何とか可能であれば続けながら）、母親のPCR陰性化を待つ。

いずれにおいても母体PCR陰性化後の母乳育児を目標としますが、母親の肉体的精神的負担を軽減するように努め、また母親が罪悪感を持たないように支援することがとても重要だと思います。

4. 母子分離と愛着形成の問題

コロナ禍に付随して母子分離が問題になると思いますので、それについても考えてみます。

1) 正常新生児の場合：上記の経過で可能な限り速やかに母子が一緒になれるような支援が必要です。

2) NICUなどに児が長期入院になる場合、または母親が何らかの原因で長期入院を余儀なくされた場合は施設の考えの差はあるとしても面会の制限がなされ、母子分離の期間が長くなります。

その間の母親の不安、精神的な焦りに対して医療者が直接に関わることは困難ですが、児の状態を知らせるメールやビデオのやりとりを行うことが母親の不安の解消と、母子の愛着形成に効果あると考えます。

看護師さんは忙しいとは思いますが、NICUではこれまでも日記の交換をしていたと思いますので是非行って頂きたいと思います。

以上、コロナ禍での出産、母乳育児についてまとめてみました。

2020年度 第4回 理事・幹事会議事録 (Zoom理事会)

日 時：2020年12月7日（月）18：30～19：30

参加者：青葉、大友、藤本、堺、加藤、近江、渡邊、飯田、熊谷 9名

司 会：青葉

記 録：熊谷

議 題

1. リーフレット変更部について（報告：大友）

シールを作成する場合、1,000部で1万円くらい。

リーフレット作成するとしたら1,000部で3万円くらいか。

2. 2021年8月シンポジウム in 山形開催形式について（討議依頼：祥子）

COVID-19感染についてまだ先が見えない段階であり、医療系の会なので慎重に考える必要があるのでは。

→開催形式についての当会の意見

3、すべてWEB配信（アーカイブ配信で後から見られるようにする）

もしくは6、中止

A-2：特別講演1・2、シンポジウム1，2，3すべて行う、一般演題は募集しない

2) すべてWEBであれば、一定期間内に聴取できるようにする を選択。

3. 新しい本について（担当：堺先生・事務局）

項目を決め、「初乳から卒乳まで」の中で活かせるところは活かしていく。

実際に集まらなると話が前に進まないため、1月10日（日）13時から堺先生のクリニックに編集委員が集まり進めていくが、それまでに執筆の割り振りを決め、依頼をし、原案で良いので書き始めてもらう。

編集委員は暫定で青葉先生、堺先生、大友さん、山本さん、熊谷

4. ニュースについて（事務局）

内容、分担については10月の理事会議事録参照。

12月20日締め切り（大友さんへ原稿提出）。

1月中に発送予定。発送時には今年度分の会費未納者には督促状と振込用紙も同封する。

5. 会員増員、会費納入について（事務局）

総会資料は130名以上に送ったが、現状で会費納入が80名程度。医療センター、春WC以外からの新規会員加入はほとんど無い状態。会の運営的に厳しい状態。

堺先生から提案：当会の会員になってくれている方には、「この会を支える」という動機づけができればよいのだが。会が今何をしているのか示していく必要がある。以前に行っていたように、マスコミへの情報発信なども考えていくのはどうか。

* * * フリートーキング * * *

堺 : 9月から小児科で個別に行う形で1歳半健診が再開された。1歳半時点では90%が断乳している。復職とともに断乳、という方が増えているようだ。日本は少子化がますます進み、母乳率が低下している。今年5月の母子手帳交付数が11%減っている。児童手当の減額という話もある。そもそも予防接種が全部公費ではない、というこの国はいかがなものか。

母親の就業率が上がり、少子化が進み、母乳率が低下している。

青葉 : 「早期から人工乳を与えることで牛乳アレルギーが減る」という文献があるようだ。

堺 : 「授乳離乳の支援ガイド 実践の手引」には「1歳前には牛乳は与えないように、また1歳を過ぎて与えすぎないように」と記載があるが。原文にあたってみよう。

青葉 : 幼児の歯科健診時に、2歳半、3歳半児の保護者さんに長期母乳の利点などを話してもすでに卒乳しているので…

加藤 : 復職で断乳する母親が増えている印象がある。

堺 : 母子手帳交付数が減っている。少子化なのに保育所の待機児童は増えている。つまり働く母親が増えたということ。それに伴い、断乳が早くなってきている。

加藤 : 病院ではどうか？

近江 : 仕事復帰前提で混合希望の方が増えた。自分の育児中は母乳を続けていたが、寝かしつけなども楽だった。

渡邊 : 「混合希望」が当たり前、お母さんが疲れていると「可哀想、寝かせてあげよう」と人工乳を足すことが増えた。

堺 : 先日のMLでの田中耕平先生のご意見にもあったように、産科ではまず「母乳育児の確立」という部分をしっかりやっていくべきでは。「できれば混合」ではなく、せめて産休・育休中は母乳育児を継続してもらえると良いと思う。

加藤 : 相談室に来る方で、はじめは混合栄養でも離乳食が始まって人工乳が不要となった経過をとった方は、卒乳の時に、「やりきった!」と思って貰える。

堺 : 「完全母乳」という言い方について。完全でない場合は「不完全」と感じさせてしまって良くないのかも。

藤本 : 高齢出産が増えている。40代での出産がありふれてきた。20代もまだいるが…。若い方に比べて体力がないように思う。

堺 : 経済的問題を抱える方も増えた。そのために早期に働きに出る母親が増え、それに伴って母乳率が低下したのかも知れない。

加藤 : 育休を取るお父さんが増えた。会社・社会の考え方が変わってきたのかも。

熊谷 : 育休をとっても、必ずしも実働が伴っているとも限らないかも。

テレワークするお父さんも増えた。だが結局仕事があるので、本人たちが考えているより育児に関わるのは難しそう。そんな風に言って実母やヘルパーさんなど、外部の人が家に入るのを体よく断っている？と思われることもある。それで母子への支援が十分に受けられない状況になっていることもあるかも。

日時：2021年2月1日 18:30~20:00

参加者：青葉、熊谷、堺、大友、飯田、藤本、山本、加藤 8名

司会：青葉

記録：熊谷

熊谷：報告3件

ニュースを1月29日発送した。

会計：3月5日に決算書作成についてのセミナー受講予定（飯田、小原、熊谷）

母乳育児シンポジウム：現在決まっていることについて。別紙参照。

議題

1. 本の進捗について：（詳細については後半に資料あり）

堺：この本の目的を再度はっきりさせたい。

この会が出す意味（この会が何を伝えたいのか）を再考すべき。我々の能力（母乳から離れてしまうこと）を超えるのはどうか。母乳育児支援者でも母乳分泌のメカニズム、ということを知っているが、赤ちゃんの変化などは知らない。基本である母乳育児支援をしていく、という視点で再度考える必要がある。外部の方に原稿を依頼することについても、後から修正はできない。依頼することについては慎重にお願いしたい。

青葉：現在項目として出ているものについては全部入れてよいか？

堺：取捨選択してもらってよい。

医療者は母乳分泌のメカニズムなどは知っているが、発達していく中で赤ちゃんがどう変わっていくのか知ってもらったほうが良いと考えている。産科の先生、助産師が入りたい項目があれば入れて。

青葉：エジンバラなどは？

堺：必要なら入れてもいいが。発達障害などは（前回編集会議で話たように、いろいろ難しいので）どうか。

青葉：むし歯のことは入れた方がよいか？

堺：いまだ「長く母乳をあげているとむし歯になる、歯並びが悪くなる。」という認識の医療者はいる。乳糖はむし歯の原因にならない、ということ、歯並びの話については是非入れてほしい。

青葉：小児歯科医として、この会の範囲で言えることを他に洗い出してみます。

熊谷：内容（項目）を再確認したほうがよいか？

青葉：「お母さんへのメッセージ」というテーマがとても良かった。

堺：本の構成として、後半の方に「お母さんへのメッセージ」という形に入れるのはどうか？
父親の育児参加なども同様に。父性論と育休は違う。イクメンで何ができるの？ イクメンが終わった時に何ができるの？ というようなことだと良いかも。

青葉：鳴海先生に原稿をお願いしてみてもいいですか？

藤本：女性の立場で「やってほしいこと」を入れるのは？ 授乳意外はやってほしい。

青葉：お父さんの育児参加と言っても、お母さんの立場からのほうがよいかも。

堺：そのほうが説得力がある。

藤本：勿論、「全部お願いする」は無理なのはわかっているが、そのくらいの気持ちでやってほしい。

青葉：具体的に、洗濯、食器洗いとか言うと、それしかやらなくなる可能性がある。

摂食嚥下について、自分が離乳食を書くのはおこがましい気がする。離乳食については誰に執筆を依頼する予定だったか？

熊谷：中村先生へ依頼する予定でした。

青葉：鳴海先生にも依頼したい内容はあったが、他に不足している点はあるか？

田中先生にもお願いしたいので。

堺：離乳食については中村先生に依頼したい。離乳食に加えてアレルギーについても書いて頂きたい。離乳食・卒乳・アレルギーについて。職場復帰の話について、育児環境の変化と母乳育児、少子化、母親の就業率上昇、出産年齢の上昇などに伴う概論的なものは堺先生と熊谷で。

青葉：コロナについては？

堺：本に入れる内容ではない。いろいろな研修会も始まってはいるが、本に入れなくてよいかと思う。

青葉：母のメンタルケアについて、会でやっているメンバーはいるか？

堺：いないと思う。産科の先生は普通に行っているが。

熊谷：上原先生に依頼してみる。

堺：薬については、山本さんが市立病院の薬剤師さんに聞いてみる予定だったが。

山本：確認してみます。

父親の育児参加について、藤本先生が女性からの立場で書いてくださるという話だったが、大槻先生に男性の立場からも書いて頂くのはどうか。

堺：良いと思う。

青葉：藤本先生、大槻先生に依頼してみる。

堺：ふたりとも子育てしながら働いているので、それぞれ母親、父親の立場で書いてもらうのは、この会らしくてよいかと思う。

青葉：原稿締め切りについては、3月末で。

大友：一旦集まったら、編集、文体の統一など、していく必要がある。その作業もよろしくおねがいします。文字数については前回の本を参考にして、目安になる文字数を考えましょう。

青葉：レイアウトは見開き2ページで1項目？

堺：内容による。例えば発達についてはモロー反射が4ヶ月以降も続いていたら危険、などもあるので。見開き2ページで1項目にこだわらなくてもよいのでは。大体目安として、2000字を目途にしたらいと思う。イラストについては？

山本：春WCの助産師さんをお願いするつてはあるが。描いてもらうもの（内容、表現したいもの）については指定が必要かと。

堺：原稿が集まってから依頼する。

2. 勉強会について

熊谷：そろそろ準備を始めたい。

堺：「赤ちゃんの発達と母乳育児について」

5月28日（金）18：30～ 堺先生のクリニック3階から、での予定。

青葉：100名まではZoomで可能だが。

大友：ライブ配信プラス、アーカイブに出来たら良いと思います。

堺：事前に収録だと質疑応答ができなくなる。

山本：You Tubeの限定配信の形では？

堺：本に加藤さんも書いて頂くのは？

加藤：いえいえ

堺：乳頭痛など、「初乳から卒乳まで」の本を見直して頂くのは。

熊谷：加藤さんには地域で支援して頂いているので、そんな点からでも書いて頂くのは。

堺：今回は本について良い話し合いができたと思う。

青葉：ではまた次回詳細を詰めましょう。

詳細は次回。3月1日18：30～理事・幹事会で。

本の体裁について

1項目の文字数（2000字くらい？）

字数制限に挿絵や図表を含むかどうか。

イラストを描いてくださる方について。

1月末現在出ている内容、執筆をお願いしたいと考えている方の一覧は以下のとおりです。

執筆予定

堺先生

- ・赤ちゃんの哺乳行動と哺乳量、体重変化
- ・赤ちゃんの睡眠パターンの変化
- ・赤ちゃんの便性の変化と便秘
- ・赤ちゃんの聴力と言葉の発達

- ・赤ちゃんの皮膚の乾燥
- ・赤ちゃんの目やに
- ・母乳育児と鉄欠乏性貧血
- ・母乳育児とV.D (Caについても加える予定)
- ・授乳中の飲酒、カフェイン
- ・赤ちゃんの発達
- ・赤ちゃんの受動喫煙

上原先生より

- ・産後のお母さんのメンタル状態
- ・産後のお母さんのメンタルアセスメント
- ・エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) と赤ちゃんへの気持ち質問票
- ・育児困難のお母さんをどのように支援するか
- ・産後のお母さんへの公的扶助
- ・育児困難と母乳育児
- ・乳幼児虐待を防ぐ

青葉先生より

- ・哺乳行動から摂食嚥下運動へ
- ・摂食嚥下は学習するもの。
- ・なぜ母乳だけではだめで、適切な時期に離乳食を与えないといけないか? …歯科の立場から
- ・咀嚼のために 歯の生えそろう状態に合わせて食物の形態を変えてゆく
- ・排泄物を見てみよう

1月24日の編集会議の結果追加したもの

- ・母乳育児を選択しなかったお母さんへ
- ・仕事もしているお母さんへ 藤本先生?
- ・お父さんへの支援 (お父さんにして欲しいこと)
- ・黄疸/体重 (DOHaDの考え方も含めて) …鳴海先生
- ・妊娠中の乳房管理や、産科的視点から産科の部分 …安井先生、大槻先生?
- ・離乳食・卒乳 中村先生?
- ・発達障害…
- ・イラスト…
- ・二週間健診…田中先生?
- ・早産児・低出生体重児 こども病院のどなたか?

日時：2021年3月1日 18:30~19:00

参加者：青葉、堺、大友、飯田、熊谷、中村、横江、近江、藤本、渡邊 10名

議題

本の進捗 5月の勉強会 について

1. 本の進捗について

青葉：田中先生 2週健診 スズキ病院の担当の方

薬剤師さん 市立病院方へ依頼 快諾された

母乳育児支援を選択しなかったお母さんへ 石森さんへ依頼、返信待ち。堺先生から再依頼してもらう。

堺：原稿が集まったら体裁を整える。堺先生担当で。

アレルギーは中村先生

体重は鳴海先生、DOHaD含めて。

大友：メンタルについて上原先生から来ているが、箇条書き状態なので、文章の状態にしてもらう？

堺：他の文章と整合性が取れるようにしてもらう。

青葉：理事長から、「詳しく、具体的に」してもらうように依頼する。

大友：イラストは春WCの方に。文章がまとまってから依頼する形で。

青葉：市立病院の薬剤師さんへの内諾は取れている。

大友：レイアウト例を青葉先生、堺先生に見せたが。

青葉：横書きで。

堺：10.5ポイントで。ですます体でよいですね？

大友：一番書いていただいている堺先生の形に合わせる形で。

堺：3月いっぱい原稿が集まってから、順番、イラストは構成する（担当堺先生）。4月になったら集まってやる予定。

大友：イラストの入れ方（何を描くかの依頼）などについても4月に。

堺：先日のセミナーで歯科が早期断乳をすすめていた件について。添え乳、夜間授乳がむし歯の原因になるとのことだった。これについても言及を。

青葉：助産師会のセミナーで呉先生が話す内容についてもむし歯が入っている。いずれにしても原稿に入れる。堺先生が引用した貧血のデータは？

堺：授乳離乳の支援ガイドの本だが。

大友：念の為、引用したことについては断っておいたほうが良いかも。（出展は載せるつもり）

堺 : きちんとした雑誌に載っているデータのほうが信頼性は高いかと思う。確認する。

堺 : 職場復帰は熊谷? 育児環境の変化、就業率、保育所、少子化、出生数などについても入れた文章に。少子化は進んでいて、就業率は上がっていることも入れて。

青葉 : 安井先生からの返信がまだ。確認する。

2. 5月の勉強会について

青葉 : 堺クリニックの3階に機材を持ち込んで撮影する形になるか?

大友 : ライブ配信でやる?

青葉 : Zoomだと100名は入れるが。

堺 : ウェビナーの形だともっと人数はつくれるよう。

URLなどはどんどん流してもらって良い。3月下旬ころからでよいか。

勉強会の内容について、やや細かく項目を出して、魅力的なものにする。

青葉 : 実際にする方法については大友さんと機材のテストしてみる? 3月11日あたりに。

3月中にアナウンスをしていく。

近江 : アナウンスの仕方についてはこれから考える。

堺 : A4くらいのポスターのようなものを作っては?

近江 : 各施設に送るイメージ? 事務局と相談しながら作成していく。

堺 : 内容を確認してチラシ作成して、3月中に広報開始で。

堺 : 5日前くらいの朝日新聞に、「6ヶ月位の赤ちゃんに歯ブラシをもたせる」という記事があった。安全な歯ブラシがあるらしいが。

歯についてはもう一度取り上げて勉強会したほうが良いかも。未だに歯科は母児の健康へのエビデンスよりも早期断乳を優先させているので…。

3. フォーラムの頃の勉強会?

青葉 : 行う方向で考えていく。

堺 : ゲストを呼ぶなどしても良いかも。

次回 理事・幹事会については4月5日(月) 18:30~

本の進捗、勉強会について

日時：2021年4月5日（月）18：30～20：00

参加者：青葉、渡邊、相澤、加藤、大友、飯田、小原、芳賀、山本、洞口、熊谷 11名

司会：青葉

記録：熊谷

議題

1. 新しい本について

担当：大友、青葉、熊谷

進捗報告：

*原稿の集まり具合 未入稿 6名分

*執筆を依頼したが返信いただいていないもの「母乳育児を選択しなかったお母さんへ」は、
→再度依頼する。

*再度依頼してOK頂いた分、連休明けくらいに入稿予定。

→他の原稿の校正などしながら待つ。

今後の予定について：全体の完成予定 8月31日

熊谷：3月の理事会で「集まって構成を考える」ということにしていたが？

大友：原稿は大体集まっているので。

青葉：4月15日 17：30～ 文化協会をお借りして。全体のたたき台と分担の仮案をつくる。

イラスト 担当：春ウィメンズクリニックの助産師さん 快諾いただいている。

表紙 担当、タイトル、装丁：未定。全体の構成が決まってから考える。

大友：全体の文章を統一していく作業がある。前回の本で3～4ヶ月かかっている。

年内くらいか？

青葉：決算との兼ね合いもあり、当会の年度内（9月末くらいか）に発行まで完了する。

大友：全体のページ数が決まらないと決めにくいので4月15日に。

熊谷：販売については

青葉：今まで同様。意見を募る。ISDNはとってください。

2. 5月の勉強会について

担当：渡邊、大友、青葉、熊谷

料金について

今回は運営側の不慣れで接続できないことなども考えられるので、無料にさせてもらった方がクレーム発生を防げるのではないかと考えています。

開催方法

Zoomで行う。ウェビナー？ 会議をやっているこの形式？ 費用の差はあるか？

* 4月6か7日にZoomでの講義の方法について、詳しい方に教えてもらう予定。

その後に決める？

青葉：開催方法について、ウェビナーにするか、普通のZoomにするか？

今後、定期的に堺先生や青葉先生、上原先生にお願いしてお話を配信していこうと考えている。いずれにしても今回、5月28日は運営側のテストとして、無料にしようかと考えている。

加藤：開催方法について。Zoomでやるのと、ウェビナーでやるのは費用の差があるのか？

青葉：ウェビナーですと参加人数にも依るが5000円～かかる。

大友：参加人数で追加費用がかわる。100名 5400円、500名 18800円程度

山本：Zoomは無料ですよね？ 100名を超える可能性もある。申し込みが増えた場合はお断りすることになるか？ ウェビナーにする参加者のメリットは？

青葉：今回初開催で詳細がいろいろな部分で不明なので

山本：当日の交通整理ができる手慣れた人がいればいいのか。

加藤：今までの勉強会などでは質問はチャットでやっていたが。時間内でリアル感があって、やれたらいいか。宮城県助産師会の勉強会も質問はチャットで行っていたが。

山本：ウェビナーの方が参加者も慣れている方が多いかとは思うが。

加藤：ホストを複数名にするとスムーズか。

山本：技術的に難しいとして、チャットでの質問を遠慮してもらうことにした会もあったようだ。質問はメールで受けるという方法でもよいか。

青葉：Zoomでも参加者をミュートにする方法もあるが。明日、詳しい方に聞いてみるのでその際に確認してみる。

加藤：資料発送については？ 講師は割と直前まで修正などしていることがある。事前に資料を見て質問を事前に受け付けるという方法はどうか。テーマは興味深いのでたくさん質問が出るのが予想される。

今回は会員には会費を払っているのもので無料にするが、今後は有料でやる方向で良いのでは。内容としては有料でも集まると思う。

青葉：会員限定とするとプレミアが付く？ 会員募集につながるか？

山本：今後継続的に配信していくのであれば、スポット参加も受け付けるが、後日オンデマンドで見られるのは会員のみ、とするのはどうか。

加藤：料金も頂く方法でPeatixなどの活用もどうか。

大友：動画の撮影を試して撮り始めている。このような勉強会に現在飢えているところもある。アーカイブとして作って、通常の講演枠の中で話しかれない部分もあると堺先生はおっしゃっているのも、そういったものも、配信したいと考える。

いずれYouTubeのように無料で公開する部分と、その先はサロン（会員が見られる）として有料、という風にしていきたい。

当会の財産は皆さんの知識や経験。皆さんが持っている知識などを伝える形にしていきたい。

青葉：この会の活動を考えると当面オンラインで発信していく形になるだろう。やり方もシフトしていく必要がある。

加藤：今回は入り口として見てもらう形にするということだが、今後どうしていくのか。

大友：1～2回／月くらい配信していく方向にして、入会へつなげるようにしたい。

青葉：会員限定にすると参加人数も読みやすいのだが。どのように運営していくかは、明日聞いてみる。

渡邊：広報用のチラシについて。「ウェビナー配信」という形がいいか？ 会員限定にするか？ 人数制限する？ チラシの紙で印刷、郵送はなしにするか？

山本：時間的にも今回は紙無しで良いのでは。

渡邊：申し込み用のURLも入れる？

青葉：明日の話し合いで考える

加藤：告知する対象は？ 当会会員？ 東北母乳の会？

渡邊：当会、東北母乳の会？ 助産師会？

青葉：100名位？ 明日検討。

山本：今回の対象は？ のびすく入れる？

青葉：入れる方向で。

渡邊：当日手伝い等は必要？

青葉：運営として念の為、お願いします。当日は堺先生のところでさせてもらおうと考えていたが。

大友：チャットで質問など入ってくる可能性があるので、青葉先生、事務局も居たほうが良さそう。運営について、ウェビナーでやって見る時の追加料金が5000円くらいならリハーサルしてみようかと考えていたが。もうちょっと詳細決めてから相談したい。

渡邊：OK

加藤：今回は無料でよいか？

青葉：OK

広報の仕方

当会理事・幹事会MLメールの添付で送る（プリントアウト、広報をお願いします）

東北母乳の会のMLメールの添付で送る（プリントアウト、広報をお願いします）

宮城県助産師会のMLに依頼する？

*施設あてに郵送だと、参加して欲しい現場のスタッフにはなかなか情報が伝わらない恐れがある。 →今回は郵送なし。

当日の運営について（予定）

流れ

Liveで挨拶

録画の講義を流す

Liveで質疑応答（チャットに書き込んでもらったものに時間のある分）と挨拶

* 4月中にMLメンバーのご協力を頂き、リハーサルしたいと考えています。

担当者：堺、渡邊、青葉、大友、熊谷

場 所：レイールビル（堺先生のクリニックがある建物）3階

3. のびすくでの母乳育児相談の延期にあたって

担当：山本、熊谷

のびすく泉中央から個別での母乳育児相談再開の希望と、母乳だけで育てていない場合や離乳食のことなどを相談しにくい状況があるため、名称変更の相談を受けた。その後、コロナ対策のためののびすくは全館休館している。

以前の理事会で、「オンラインなら可能では？」と意見をもらったが、のびすくでオンライン相談をするのは現在環境が整っておらず不可。

のびすく再開時に、対面での相談について、受けるかどうか？

受けるとしたら担当可能な方は？

オンラインでの相談なら協力できるか？

オンライン相談の担当が可能な方は？

相談窓口がなくて困っている話は少なからず耳にする現状がある。

当会独自で行うことはどうか？（メールでの相談は今までほとんどなかったが…）

山本：のびすく現在休館中、外部の人が入るまでは時間がかかった。問診票、検温などはやっている。オンラインでやる方法も考えている様子。オンラインの準備が整ったら再開、とさせてもらおうと安心か？ みやぎ母乳育児をすすめる会独自でやるとしたらどうするか？

青葉：まん延防止開始により、のびすくはしばらく休館が続くので保留。当会独自のものについてはイメージがつかないが、電話相談などについては時間がかかることもあり、対応者に負担がかかるか。

山本：メールだとリアルタイムでないこと、言葉の行き違いなどがあるか？

加藤：以前の理事・幹事会で個人的にメール相談は受けられないと言った。以前メール相談を受けていた時に書き込まれた、限られた情報から問題解決に導くにあたって、とても苦労したことがある。対面だからこそ取れる情報もあるので、本当は対面でやれたほうがいい。電話相談についても、相手が見えないために苦労したことがある。メール、電話相談は時間的にも負担が大きいと思う。

山本：当会独自で相談事業をやるかどうするか？ 今年度、当会としては本のことで、事業的には

手一杯か。のびすくのオンライン相談ができるのを待つのでよいかと考えているが。
加藤：お母さんのことを考えるとやった方が良いとは思うのだが…
山本：慎重にすることで見えてくることもあるので。当会独自の相談については保留。

4. その他

理事・幹事会の連絡方法について：熊谷

現在MLを使っているが、メールは使いにくいという意見もある。

希望者はLINEのグループなどで連絡をする方法はどうか？ →アンケートを採ってみる

母乳育児シンポジウムの進捗

会についての報告は特になし。

東北公済病院からの実行委員は土生さんと本間さんになりました。

母乳フォーラムについて

→紙面総会の方向で。講演会については今回の勉強会の状況で検討。

人事異動の報告など

近江さん（坂）産休に入られました。後任は相澤加奈子さんです。

医療センター 沖津まゆみ師長さんから長尾愛佳師長さんに替られました。

東北公済病院 伊藤美佳師長から高橋有希師長に替わりました。

次回理事会は5月10日（月）18：30～ Zoomで行います。

日 時：2021年5月10日（月）18：30～19：30

参加者：青葉、中村、堺、渡邊、相澤、藤本、加藤、大友、飯田、小原、熊谷 11名

司 会：青葉

記 録：熊谷

議 題

1. 定例会について（集客状況、情報拡散のお願い、当日役割分担など）

熊谷：現在の所、Peatixで44名、メールで2名、合計46名

大友：50名くらい集まればと考えていたのでちょうどよいのではないか。

青葉：渡邊さんが作ってくれたチラシとPeatixのバナーが違ったものになってしまい、別のイベント？と思われたという意見があった。次回に生かしたい。

大友：5月13日15時からにウェビナー使って予行練習する。PC持ち寄ってやってみる。

堺：スライドプロジェクターはある。

大友：「画面の共有」でテストしてみる。

青葉：成功するようにやってみよう。渡邊さんからは？

渡邊：施設で何名か集まって見る場合は？ 後で人数を報告すればよいか？

青葉：それでOK。

堺：質問はチャットで？ 最大90分とあったが、90分はなかなか大変。

青葉：60分でまとめる方向で。答えにくい質問は後で、というのでも良いか。

堺：開始時間が遅いという意見も出ていた。18：30～にこだわらなくても良いかも。

青葉：今後検討していく。

渡邊：チャットの練習を5月14日に熊谷とすることにしていたが？

熊谷：渡邊さんと熊谷で練習予定。

2. 本の進捗状況（原稿の集まり具合、今後の予定など）

青葉：原稿が集まった。編集委員で進めていく。

大友：以前に本の作成に携わっていただいた方へ声を掛けたい。上原先生には連絡済み。

5月20日（木）16：00～ で堺先生の場所をお借りする予定。

熊谷：編集委員の具体的なメンバーは堺、上原、青葉、大友、熊谷。山本さんには確認中。

青葉：それでOK。進めていく。

3. フォーラムについて（総会はオンラインで行うが、フォーラムはどうする？）

青葉：開催形式については？フォーラムもZoomで行うか？

熊谷：去年と同じ形式のつもりだったが、オンラインと書いたことで誤解を招いた。

青葉：オンラインでも可能ではあるが？

堺：去年と同じ方法で良いのでは。

青葉：フォーラムはどうする？

大友：ウェビナーでやってみたら？

青葉：5月の出来を見て、ウェビナーの方式でやってみよう。その場合、講師はどうする？堺先生にアイデアは？

堺：現在特に無いが。ポスターにURLを入れると入りやすいか？

青葉：講師の候補は？コロナ対策などで忙殺されていてまだ考えていなかった。

堺：考えてみます。皆さんも考えて欲しい。

青葉：トピックスは？現在はコロナのことでもちきりだが。

堺：コロナ禍での母乳育児や、新生児管理などの話もあるが。対策が必要とされる期間は短いし、対応方法も決まってきた。トピックスとしては離乳食をどうするか？というものもある。鉄欠乏性貧血やビタミンD欠乏の話で、最近、朝日新聞にも載っていた。コロナに関係ないところで、ショートレクチャーとして有っても良いかも。ショートレクチャー、プラス講演、という形でも。

青葉：秋になると状況も変わっていく可能性がある。

堺：その頃にショートレクチャーとしてコロナの話があってもよいか。

青葉：ワクチン接種もその頃には進んでいるか。

堺：日程はどうする？

10月16日（土）に総会とフォーラム開催で。

青葉：フォーラムもZoomで。懇親会はZoomで？

熊谷：時間は？例年からと同じ14時から？

堺：2時間くらい？

青葉：アンケート採ってみる。

4. ニュースについて（年間予定としては5月発行予定でした）

5. WEB配信について

青葉：ニュースについて、議題4、5の、ウェブ配信と絡めて話したい。コロナで集まらない・イベントもできずにいるままでは、記事も集まらないが。

大友：ニュース発行しても記録紙としての意味はあるが、あまり読んでもらえていないかも。動画のほうが見てもらえる可能性もよりあるし、残るアーカイブとして、わかりやすいので、それをやってみてはどうかという提案をし、実験的に既に録画したものもある。動画で情報発信できたら良いのではないかと考え、試しにやってみている。今後少しずつ配信させてもら

えたら、と考えている。

青葉：具体的にはYouTubeのように、後でも見られる形になっている？

大友：ライブ、アーカイブともにできる。ウェブに動画をはめ込むこともできる。図表などは見てもらったほうがわかりやすい、という部分もある。

青葉：ニュースはやめてウェブ配信にしていく？

大友：紙で発行という方法も親しみやすさがあるが？可能であれば両方を考えたい。ウエイトを紙から映像へと徐々に移すように。ニュースの内容になるイベントなどもなかなかできていない状態なので…

堺：ニュースは続けていくべきでは。発行しないと会員の意識からもフェードアウトしてしまう。コロナ禍での母乳育児について、これを母乳奮闘記として書いても良い。

青葉：では発行する方向で。

堺：締切どうする？6月中旬なら。

青葉：定例会の報告は書きたい。巻頭言は？

堺：副理事長で。

熊谷：詳細は事務局で確認、連絡します。

その他

大友：5月13日、15時から5月28日のテストとして、ウェビナーでやってみる。結果、協力して頂くことがあるかもしれない。その際はお願いします。

熊谷：現在MLで送っている内容の連絡方法について→アンケートの結果、現行通りとなった。LINEでリマインドが有った方が都合の良い方は個別対応しますのでご連絡を。

青葉：その他、皆さんから一言なにか有りませんか？

加藤：皆さんに会いたいです。この状況が1年以上続いているので苦しいです。

青葉：ワクチン接種の状況は？

加藤：1回目もまだです。

渡邊：定例会のやり方についても、まだわかっていないことがたくさんある。リハーサルやってみる

中村：新しい本の原稿執筆中なので頑張ります。コロナで難しいが、お子さんの両親にも対面でお話したいが。そんなところも含めて書いていきたい。

相澤：特になし。

小原：定例会を職場などで複数が見る場合、人数は後で報告するので良いか？

青葉：それでOKです。

藤本：定例会は参加する。ワクチン2回目を受けた。体調はなんとかあった。

相澤：特になし。

飯田：特になし。

青葉：5月20日にNPOプラザで会計について相談してから次期会計に渡そうかと考えている。

ウェブ配信などを始めると収益事業と見られる可能性があるため、税務について聞いてから引き継ぎしようと考えている。

熊谷：次期会計は飯田さん、小原さんをお願いしています。よろしくお願いします。

青葉：次回理事会は？

熊谷：フォーラムの講師なども決めたいので、6月7日では。

青葉：では6月7日、主にフォーラムなどについて。遠隔地から講師に話してもらうのもあるが。堤先生は？

堺：ピジョンのセミナーでは仙台にスタッフが来て全国配信、という方法を取る。遠隔地の先生だとしたら録画を送ってもらって配信、などの方法もある。次回理事会をするのであれば、実施方法を含め具体的な話を決めるということ。

青葉：6月7日までに講師、具体的な方法も考えておいた上で話し合しましょう。

次回理事・幹事会は6月7日（月）18：30～ Zoomで行います。

日 時：2021年6月7日（月）18：30～19：25

参加者：青葉、中村、堺、洞口、大友、相澤、加藤、藤本、渡邊、横江、熊谷

司 会：青葉

記 録：熊谷

議 題

1. 定例会報告

熊谷：160名以上の参加登録があったが、104名しか入れず。Zoomウェビナーへの不慣れ、設定の不備、パソコンの不調なども有った。今後対応を考えていく。

青葉：今後クロックミップ申請単位や、国際認定ラクテーション・コンサルタント評議会の継続教育単位証明をつけることで、有料でも参加して頂けるか？

大友：定例会再度として

6月19日土曜日 16時から

もう一度見る、という方もいるので、再度100人を超える可能性があります。

案1 見られなかった方100人限定とする

案2 100名+YouTube 入れなかった方はYouTubeでみていただく

※ただし、質問等もYouTubeチャットで拾う必要あり。

案3 ウェビナー ビデオウェビナー登録でお金を払う

最大出席者 10,000 名 ¥18,800/月/ライセンス 掛かる。

当日はつきりとは結論が出ず、早急に検討が必要。

青葉：参加料を頂くことについて堺先生は反対、今後についても徴収しない方向で。

2. ニュースについて進捗状況報告

巻頭言 大槻先生

定例会報告 青葉先生

母乳奮闘記 堺先生

議事録、フォーラム予告 事務局

3. フォーラムについて進捗状況報告（講演内容、講師候補、開催方法など）

演題、演者について、

堺：大槻先生 コロナ禍での妊娠・分娩の管理（仮）

NICUなどでの母子分離が長くなっている中での愛着形成のための支援（仮）で良ければ依頼する。

日程については大槻先生の予定次第になるので変わる可能性があるが、フォーラムの日程を変えればよいだろう。

加藤：時間については？それも大槻先生次第？

開催時間についてはアンケートもあったようだが。

熊谷：15時からの意見が多かった

青葉：15時からでとしてお知らせをのせる

フォーラム開始時間は15時から。無線LANが切れてしまうと困るので、大槻先生などに遠隔 からやって頂けるか、どこかに集まってもらうか、パソコンのスペックなどについても検討していく方向。

(有線にする場合、場所が限られるとおもうので、対策が必要。)

4. 本について 進捗状況報告

熊谷：原稿校閲 6月10日締め切り、6月17日に編集会議、レイアウトなども決めていく。

青葉：男性の育児休業に関する法令が出たのでそれについても入れていく。

藤本・大槻先生の原稿もとても良かったので、巻頭の方に入れていく予定。

藤本：塩竈地区の方で「育児は女がするもので」というような考えの方も多いう。

お話しが通じるお父さん向けの文章も追加しようかと…

青葉：6月17日に編集会議があるのでそれに間に合うようにしていただければ。よろしくおねがいます。

藤本先生の原稿の中での山口創先生の本というところがあったが、具体的な書籍名はありますか？後で連絡お願いします。

大友：残りの原稿、まだ少々あり。青葉先生からも頂く予定。

遅れているので頑張って進めていく。

5. その他

大友：再配信について料金はいただかないことについては賛成。今後についての料金、ライブ配信は（100人以上の契約）15,000円/回位かかる。堺先生が仰っている、料金はいただかないことについては、当会の活動の方針としてあるが、資料代などで頂くことはできないか。赤字にしてしまうと、今後の活動ができなくなる恐れがあるので…。

熊谷：今後検討していく方向で。

大友：定例会については、経験不足でご迷惑をおかけしました。今後に活かしていきますので暖かく見守っていただければ。

渡邊：動画を併用していく場合、配信のキャパについては要注意。

費用についてはみやぎ母乳育児をすすめる会に正会員で入っていただくことが基本になると。

加藤：今回の定例会で会員になってくださった方は？

熊谷：2名です。

青葉：他にご意見ある方お願いします。

中村：各施設で当会のことについて知ってくださっているか。皆さんのところでどうか、情報交換などができたら良いと考えている。各施設でどれくらい認知度があるか。今回の定例会の感想も聞きたい。

洞口：定例会でも会員の勧誘などのアピールもしたら良かったのでは。終わり方も尻切れトンボだったので今後工夫検討を。

料金を頂くにしても会員になっていただくについても、実績を積んでいかないと。

青葉：会員になっていただくについても、今後検討していく

相澤：会について知って頂く、という意見があったが、自分もまだよくわからずに入った。勉強会などに病棟で参加して頂くなどで知ってもらえるか。

青葉：次回理事会は8月2日（月）18：30～ Zoomで。

大友：Zoomの設定のためにスケジュールが18：00～となったため今回少々混乱があった。

青葉：開始は18：30～です。よろしくおねがいします。

母乳フォーラム in 宮城 2021
2021年10月16日(土)15:00～にオンラインにて開催予定

講演：「コロナ禍での妊娠・分娩の管理(仮)」

仙台市立病院産婦人科部長 大槻健郎先生

「コロナ禍での新生児医療、NICUでの長期母子分離の問題点と対策(仮)」

宮城県立こども病院新児科部長 渡辺達也先生

詳細については決定次第お知らせいたします。ご期待下さい！

住所や勤務先、お名前の変わった方、退会を希望される方は事務局までお知らせ下さい。

連絡先 事務局：東北公済病院 7階 母子センター
TEL：022-227-2215（直通）
E-mail：m.bonyu@gmail.com

特定非営利活動法人 みやぎ母乳育児をすすめる会
理事長:青葉 達夫
事務局:東北公済病院7階 母子センター
電話:022-227-2215(直通) e-mail:m.bonyu@gmail.com